

研究主題

地域への愛着をもち、よりよい地域・社会・未来を創造する子
～地域との連携による、「おおたの未来づくり」を目指して～

第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 令和6年9月11日(水) 5校時
学校名 大田区立久原小学校
対 象 3年1組 33名

1 単元名

「久が原探検隊 久が原のすてきを見つけよう」

2 単元の目標

久が原の良さや特色について必要な情報を収集・整理・まとめ、発信することを通して、自分たちの住む久が原の町に愛着を深め、地域の一員としての自覚をもてるようにする。

3 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことにかかわる探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴や良さが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いの良さを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え参画しようとしている。
学習活動における評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ① 久が原の良さや特色について理解している。(知識) ② 調査活動や発信を、目的や対象に応じて方法を選び、実施している。(技能) ③ 久が原の良さや特徴の発見には、地域の人、もの、こととの関わりを通じた、探究的な学習の成果であることを理解している。(探究学習の良さ) ④ 久が原の町は、昔も今も未来も継続した人々の願いや営みや努力によって成り立っていることを理解している。(地域) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 既習学習や地域の人、もの、こととの関わりをもとに地域への関わりを通して感じた関心をもとに課題を設定し、解決の見通しをもっている。(課題の設定) ② 課題の解決に必要な情報を方法を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積することができる。(情報の収集) ③ 課題解決に向けて、観点に合わせて情報を整理して考えることができる。(整理・分析) ④ 相手や目的に応じて、分かりやすく表現することができる。(まとめ・表現) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 久が原の良さや特色に関心をもち、学習を振り返ったり見直したりしながらすすんで解決しようとしている。(自己理解・他者理解) ② 協働的な探究活動を生かして、課題を解決しようとしている。(協働性・主体性) ③ 久が原のすてき調べを通して、地域の人、もの、こととのかかわりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとしている。(将来展望・社会参画)

4 単元設定の理由

「久が原のすてき」に気付かせる学習をしていくためには、地域教材を取り上げていくことは必須である。2年生までの生活科の学習を生かしていきたい。

2年生までの生活科の町探検の学習を踏まえて「わが町久が原はどんな町？久が原の特徴は？」という話し合いの学習を行った。話し合いの概要は以下の通り。

- ・遺跡の上に建っている久原小学校がある町（大昔から人々が住んでいた町）
- ・庚申塔が町中にある町（何のために誰が建てた？）
- ・2つも八幡神社があり、古い大きなお寺もある町（大事に保存されているのはなぜ？）
- ・呑川が流れている町（どこからどこまで流れている？）
- ・大雨になると水かさが増える。
（コンクリートで作られていて、自然にできた川ではない。なぜ？）
- ・カメやカモなど生き物が住んでいる。（他にもどんな生き物が棲んでいるのかな？）
- ・公園が10個以上もある町
（なぜ、たくさんあるのか。いつもきれいで安全で誰がきれいにしているのか？）

出された内容を整理すると以下ようになった。

「久が原のすてきを調べたい。」という気持ち生まれ、具体的には、

- 1 「久が原の昔は今と町の様子が違う？」 → 「久が原の昔を調べたい。」
- 2 「呑川はどこからどこまで流れている？」 「なぜコンクリートで作られているの？」
「どんな生き物が棲んでいるのか？」 → 「呑川について調べたい。」
- 3 「なぜ、公園がたくさんあるのか？」 「誰がきれいにしてくれるのか？」
→ 「公園について調べたい。」

そこで、単元名「久が原探検隊 久が原のすてきを見つけよう」として、小単元1「久が原歴史探検隊」小単元2「呑川探検隊」小単元3「公園探検隊」と3つの小単元を学習していく。

小単元1では、「久が原の古い建物や歴史」を調べていく。旧石器時代から始まる久が原の歴史への関心を高め、地域の方の話や文書資料などを基に昔の久が原の土地利用や人々の暮らし、当時のこどもたちの生活を調べたり、町に残る古い建物の見学、インタビューをしたりして、調べ学習を深めていく。

小単元2では、久が原を流れる呑川を題材として、昔は稲作のためにも使われていた呑川、今はコンクリートに固められ人工的になった呑川、大雨が降ると怖いぐらいに水かさが増す呑川、カメやカモが住んでいる呑川の謎を調べるために「呑川探検隊」の学習をしていく。

小単元3では、久が原にたくさんある公園、こどもたちにとっても身近でよく遊んでいる公園、いつもきれいで、家の人も安心して遊びに出してくれる安全な公園の謎を「公園探検隊」として調べていく。

小単元1・2・3を通して、久が原の町のすてきや人々の思いに触れて、久が原の町のすてきを自分たちが知っているばかりでなく、誇りと感謝の気持ちとともに、多くの人に伝えていくことができる単元にしていきたい。

5 児童の実態

(1) 総合的な学習の時間について

2年生の生活科では、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えるために、町探検の活動を行ってきた。活動を通して、子供たちは地域のすてきなどところを見付けたり、地域の人と関わるよさを感じたりすることができた。

3年生となり、総合的な学習の時間のオリエンテーションでは、生活科の学習を振り返り、町への関心が高まる話し合いを行った。1年間かけて、町の魅力を知り、久原フェスタで多くの人々へ発信していきたいという目標をもって学習に取り組んでいる。

(2) 地域について

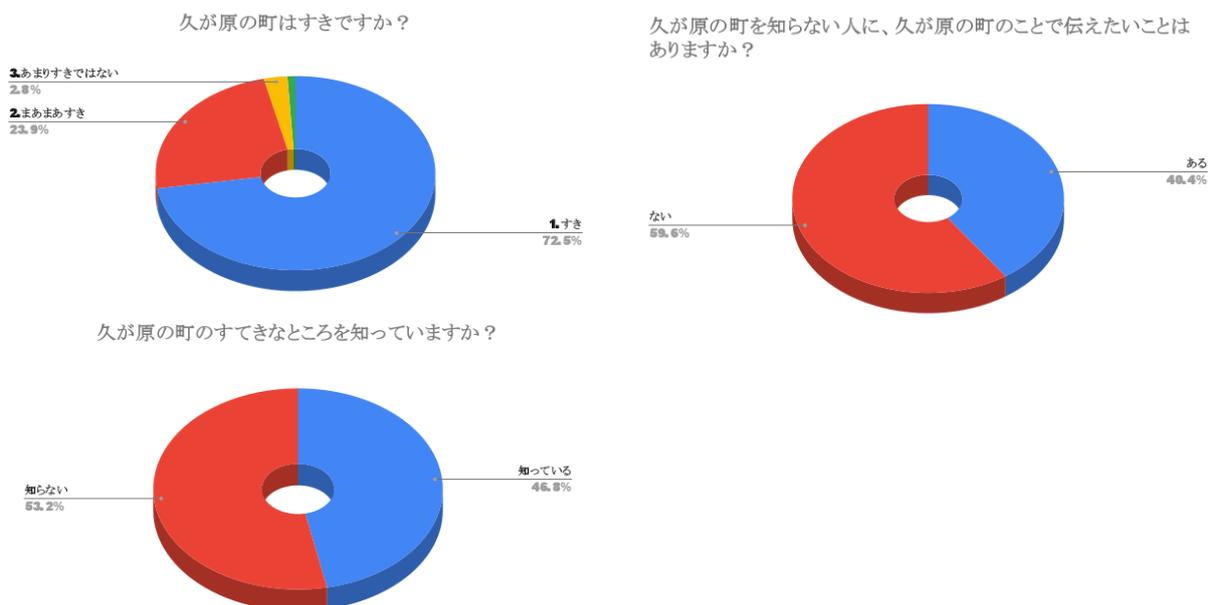
久が原は、神社や寺など昔からの建築物があり、代々受け継がれて住んでいる人やよさを見付けて入って来る人が多い住宅地である。そのため、よさを守っていこうという強い思いをもっている地域の方が多い。

生活科の学習では、近くの公園で自然と触れ合うことで久が原の自然に気付いたり、町探検を通して久が原の魅力を見付けたりして、地域を題材として学びを深めることができた。

本単元では、見学や調べ学習を通して地域のよさを改めて感じ、地域のために自分ができることをしようとする態度を養いたい。

(3) 町づくりについて

【事前アンケート】



【知っていること】

- ・優しい人がたくさんいる。
- ・遺跡などの歴史がある。
- ・公園がたくさんある。
- ・久原小の地下から土器が出てきた。
- ・神社やお寺がたくさんある。 など

【伝えたいこと】

- ・久が原の町は優しい人がたくさんいること。
- ・久原小が遺跡の上に立っているということ。
- ・呑川や公園などの自然があること。
- ・お寺や神社など古い建物が多く残されている。
- ・久原小が楽しいところだということ。 など

第3学年の社会科の学習では、「わたしたちの大田区」について学習を行ってきた。「わたしたちの大田区」では、大田区の地形の様子、土地の使い方、交通、公共施設、古い建物、埋め立て地などを主に学習している。大田区の様子をおおまかに調べ理解することはできたが、そもそも学区域の様子を調べる経験があまりない。また、地域のことを理解していても、それを他者に伝える機会が少なく、地域のことにに関して児童の深い理解には至っていない。

アンケートの「久が原の町のすてきなところを知っていますか。」という項目では、ほぼ半分に分かれたが、知っていると答えた児童の方が少ない。また、「久が原の町のこと伝えたいことはありますか。」では、約60%の児童が「ない」と答えている。しかし、友達の見解を聞くことで、町の特徴を「すてき」として再認識した児童も見られたことから、協働的に学習に取り組むことで、児童の理解がより深まっていくと考えられる。

本単元では、生活科で学習してきた地域について、見学やゲストティーチャーとのつながりを通してさらに深め、他の人にもっと知ってもらうために、主体的に学び、自ら発信しようとする態度を養うことを課題とし、探究学習の取り組み方を視覚化し、学びを深める環境を整えてい

く。地域と関わりながら理解を深めていくことで、自分から地域のよさを発信しようとする意欲をもたせ、主体的な学びへと繋げる学習にしたい。

6 主題に迫るための手だて

中学年分科会で目指す姿

地域のよさを知り、よりよい地域・社会・未来のためにすすんで社会参画する子

- (1) 地域と連携・協働して課題を解決するようにする。
 - ・本校卒業生で、昔のことに詳しいゲストティーチャーと連携し、久が原に人が住むようになった経緯や、子供時代の暮らし方などを教えてもらい、久が原の理解が深まるようにする。
 - ・よりよい課題解決に向けて地域の歴史を学ぶために、地域に残る古い建物の見学、いつから何のためにあるのかななどのインタビューをする。

- (2) 身近な生活・地域・社会から、問題を見付け、自分で課題を立てる機会を設定する。
 - ・研究主題に迫るためには、地域と連携して学習課題に取り組み、地域の良さに触れ、新しい発見が地域への誇りと感謝の思いになり、それを多くの人に伝えていきたいという気持ちの生まれる課題である必要がある。そのためには、身近な地域から児童が地域の特色を発見した課題と、教師が考える目指す児童像とを合わせて、児童と一緒に学習課題を設定する。

- (3) 課題解決に向けて必要な情報を適切な方法で集め、確認、共有を重ねることで確かな知識として、解決へ向けた行動を取ることができるようにする。
 - ・久原小130周年記念誌や文書資料、写真などを学年フロアに置き、課題解決の一助とする。学習したことをまとめ、表現し、新たな課題を見付け、さらなる課題解決を始めるという「学習スパイラル」に沿って学習を進めていく。
 - ・必要に応じて、資料を提示したり、3年生という発達段階だからこそ、集めた情報を児童と対話する学習を通して内容を確認したり、共有したりして正しい情報のもと思考・判断・表現できるよう教師の指導を必要に応じて行っていく。
 - ・ゲストティーチャーの話や文書資料、見学して分かったことや、インタビューをして分かったことを伝え合い、全体で確認する場を設定して、個人の思い違いや誤解を是正し、確かな知識の学習を進めていくことができるようにしていく。
 - ・学習の足跡を残し、前時の学習が次の学習に生かせるようにする。

- (4) 自己の生き方を考えることができるような機会や場を設定する。
 - ・自分の学習を振り返る場を設定して、自己の学びや成長を振り返ることができるようにする。小单元ごとに、丁寧に振り返りを行い、自らの学びを意味付けたり、価値付けたり、他者と共有したりしながら、次の新しい課題を見付け、さらなる課題解決をしていくことができるようにする。

7 おおたの未来づくり科との関連

〈第1学年から第4学年までで育成を目指す創造的な資質・能力の素地及び内容〉

第1学年から第4学年は、教科「おおたの未来づくり」の対象学年ではないが、第1学年から第4学年の各教科等の学習で身に付けた資質・能力を土台として、第5学年及び第6学年で育成を目指す「創造的な資質・能力」が位置付けられることから、各教科の特性を生かして、教科等横断的な視点に立った資質・能力である「創造的な資質・能力の素地」を育成することを目指す。育成を目指す創造的な資質・能力の素地は次のとおりである。

	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
創造的な資質・能力の素地の育成	①問題の発見・解決に必要な情報を収集・活用するための知識及び技能を身に付けている。 ②分かったことや考えたことを相手に分かりやすく伝えるための言語や情報技術を習得している。	①目標と現状、予測と結果、異なる意見などを比較し、問題を発見する力を身に付けている。 ②既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力を身に付けている。 ③問題を発見し、解決方法を考え、結果を予測しながら試行錯誤して解決方法の実行を繰り返し、問題解決を図る力を身に付けている。	①実社会で活躍する人などとの対話を大切にし、問題の発見・解決に資する情報収集に進んで関わろうとする態度を身に付けている。 ②問題の発見や解決に向かって、自分や他者のよさを生かして協働しながら、主体的に取り組もうとする態度を身に付けている。 ③学習を振り返って学習状況を把握し、次の問題発見・解決につなげていこうとする態度を養おうとしている。

表に示した創造的な資質・能力の素地は、各教科等の学習を通して育成する教科等横断的な視点に立った資質・能力であることから、各教科等の中で具体的な内容を設定する性質のものではなく、各教科等の指導を通して育成するものである。

8 教科横断的な学習

教科	単元名	「久が原のよさ」との関連	「おおた未来づくり」との関連
社会	わたしたちの大田区	自分の身近な地域について、久が原の特色やよさを理解することができるようにする。	大田区の特徴について学んだことを生かすことができるようにする。
国語	おすすめのさつを決めよう	比較や分類の仕方を理解し、互いに意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができるようにする。	比較や分類の仕方を理解して、情報収集をし、整理・分析した情報をもとに資料をまとめられるようにする。
国語	仕事のくふう、みつけたよ	報告文の書き方を学び、集めた情報をまとめることができるようにする。	情報収集及び相手にわかりやすく伝えるために報告文にまとめている。
国語	もっと知りたい、友だちのこと	GTが伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉え、他者に伝えるために必要な事柄を選ぶことができるようにする。	整理・分析した情報をもとに資料をまとめて発信しようとしている。
国語	気持ちをこめて「来てください」	GTに感謝の気持ちを伝えることを意識して、丁寧な言葉を使って感謝の手紙を書くことができるようにする。	相手や目的を意識して、伝えたいことを表現することができるようにする。
理科	植物の育ち方	ヒマワリとホウセンカの共通点や差異点について学習することで比較して考えられるようにする。	整理・分析する力を高め、目的に沿った話し合いができるようにする。

算数	棒グラフと表	相手に伝わりやすいまとめ・発表になるようにグラフや表を効果的に活用できるようにする。	棒グラフや表の使い方を理解して、まとめ・表現ができるようにする。
----	--------	--	----------------------------------

9 指導計画（全70時間）

小単元① 久が原歴史探検隊（全23時間）

小単元	時数	○主な児童の活動 ・予想される児童の姿	◇手だて ☆評価○支援 ※資料 ■教科横断的な学習	おおた未来づくり科との関連		
				知	思	学
久が原探検隊	1 ・ 2	○生活科で学習したことや知っていることをもとに、久が原の特徴について話し合う。 ・久原小は遺跡の上に建っている。 ・庚申塔や古い建物が町にたくさんある。 ・呑川が流れている。大雨になると水位が上がり怖い。 ・調布公園など公園が多い。いつもきれいになっている。 ○久が原地域には様々な特色があることを理解する。 ・昔のものがたくさんある町 ・コンクリートで固められた呑川が流れている町 ・安全できれいな公園がたくさんある町	☆思・判・表① （発言・ワークシート） ■※社会科「わたしたちの大田区」 ■※生活科で学習したこと			①
【課題設定】	3	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> (単元の学習問題) 久が原のすてきを多くの人に知らせよう。 </div> 【内容】 ・久が原の昔（小単元1） ・呑川（小単元2） ・公園（小単元3）				②
【計画】	4	○課題解決のための学習計画を立てる。 ・久が原の昔に詳しい人に話を聞けないかな。 ・詳しい資料がないかな。 ・見学に行き行って調べる。 ・家の人に聞く。 ・インターネットで調べる。 ・久が原図書館に行く。	◇課題解決のための方法について考えさせ、課題解決力を育てる。			

<p>【情報収集】</p>	<p>5 ・ 6</p>	<p>・学校にある記念誌で調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>久が原の昔についての情報を集めよう。</p> </div> <p>○久が原の昔に詳しいGTを招いて話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久が原の昔はどんなところでしたか。 ・久が原は今住宅街ですが、昔はどんな町でしたか。 ・昔の子供たちのくらしはどんな風でしたか。 ・庚申塔は誰が建てたのですか。いつからあるのですか。 ・古くて大きなお寺はいつから建てられているのですか。 <p>○GTから頂いた資料やインターネット、図書資料や記念誌をもとに、久が原の昔や人々のくらしを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は呑川が度々氾濫した。 ・高台は畑。呑川付近は田だったけれど、呑川の氾濫で荒地になり、ため池がたくさんあった。 <p>○GTから紹介していただいた安詳寺、本光寺、東部八幡神社、西部八幡神社に行き、見学したり、神主さんや住職さんに聞いたりして調べる。</p>	<p>◇GTと打ち合わせをしておく。</p> <p>☆知・技①</p> <p>☆主① (発言・ワークシート)</p> <p>※「久が原の昭和史」</p> <p>※「久が原西部八幡神社と久が原の歴史」</p> <p>※「久原小学校130周年記念誌」</p> <p>☆思・判・表②</p> <p>☆知・技②</p> <p>☆主① (発言・ワークシート)</p>	<p>①</p> <p>②</p>		
<p>【整理分析】</p>	<p>7 ～ 17</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>集めた情報を整理、分析しよう。</p> </div> <p>○情報収集して分かったことを話し合ったり確認し合ったり記録したりしながら、間違った情報ではなく正しい情報収集ができるために、情報の整理をする。</p> <p>○確認した情報をもとに、自分が心に残ったこと、分かったことなどを、一人一人が報告文にまとめる。</p>	<p>☆思・判・表③</p> <p>☆知・技②</p> <p>☆主① (発言・ワークシート)</p> <p>■国語「仕事の工夫見つけたよ(報告文書く)」</p> <p>☆思・判・表④</p> <p>☆知・技② (報告文)</p>	<p>①</p>		<p>①</p>
<p>【まとめ・表現】</p>	<p>21 ～ 23</p>	<p>○単元の学習問題と「小単元1. 久が原の昔を調べよう。」の学習を振り返り、知らせたいことを話し合う。</p> <p>○どんな方法で多くの人に知らせていくのが良いかを話し合う。</p>	<p>☆思・判・表④</p> <p>☆知・技③</p> <p>☆主③ (発言・ワークシート)</p>	<p>②</p>	<p>③</p>	<p>②</p>

小単元② 呑川探検隊（全18時間）

小単元	時数	○主な児童の活動 ・予想される児童の姿	◇手だて ☆評価 □支援 ■教科横断的な学習	おおた未来づくり科との関連		
				知	思	学
呑川探検隊						
【課題設定】	1、2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">呑川によさを伝えよう。</div> <p>呑川について知っていることについて話し合い、課題を設定しよう。</p>				①
【情報収集】	3～7	<p>○それぞれの児童が呑川の情報について話し合う。 ・いろんな生き物があるよ。 ・呑川は広いみたい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">呑川についての情報を集めよう。</div> <p>○呑川を探検しに行く。 ・カワウやカモがいるよ。 ・橋にはいろんな名前があるね。</p> <p>○呑川の会の方にインタビューをする。 ・呑川はどんな橋がありますか。 ・呑川にはどんな生き物がいますか。 ・呑川の長さはどのくらいですか。</p> <p>○図書資料やインターネットなどで呑川について調べる。 ・呑川は昔からあるんだね。 ・呑川で見付けた鳥はカワウという名前だね。 ・呑川にはきれいにするための装置があるんだね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">集めた情報を整理、分析しよう。</div> <p>○呑川について調べた情報を分類整理する。 ・どうやってまとめたらいいかな。 ・私たちにできそうなことはあるかな。</p>	<p>☆思・判・表－① (発言・振り返りカード) ■社会科「わたしたちの大田区」</p> <p>■国語科「山小屋で三日間すごすなら」</p> <p>G呑川の会 呑川の徴兵橋から太平橋まで一緒に歩き、呑川の説明をしてもらう。</p> <p>☆主－① (発言・振り返りカード)</p> <p>☆知・技－② (観察カード)</p> <p>◇(1) 図書館と連携し、呑川の実験が深まるようにする。</p>			②
【整理分析】	8～11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調べたことから呑川によさを伝えよう</div> <p>○学んだことを自分たちが選んだ方法にまとめる。 ・写真を使うと伝わりやすいね。 ・説明文を簡単に書くとよさそうだね。</p>	<p>☆思・判・表－② (ワークシート・振り返りカード)</p>			②

【まとめ・表現】	12～18	○総合的な学習の時間を振り返り、自分がどのように変容したかを考える。(振り返り) ・呑川を知って久が原がもっと好きになった。 ・久が原の町のよさをたくさん発見することができた。	◇(3)自分たちで得た情報を整理するために、思考ツール活用する。 ☆思・判・表-③ (ワークシート・振り返りカード) ☆主-③ (振り返りカード)	③	① ②
----------	-------	--	---	---	--------

小単元③ 公園探検隊 (全18時間)

小単元	時数	○主な児童の活動 ・予想される児童の姿	◇手だて ☆評価 □支援 ■教科横断的な学習	おおた未来づくり科との関連		
				知	思	学
公園探検隊	1	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">公園のよさを伝えよう。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公園について知っていることについて話し合い、課題を設定しよう。</div> <p>○それぞれの児童が公園について良いところや困っていることを話し合う。 ・社会科見学で行った野鳥公園もあるね。 ・ボール遊びができるところとできないところがある。 ・ゴミがたくさん落ちていて困る。</p>	☆思・判・表-① (発言・振り返りカード) ■社会科「わたしたちの大田区」		①	
【情報収集】	2～6	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">公園についての情報を集めよう。</div> <p>○課題解決のための学習計画を立てる。 ・公園はだれが管理しているのかな。 ・公園についての詳しい資料がないかな。 ・実際に公園に行ってみたいな。</p> <p>○実際に公園に行ってみよう。 ・花が植えられているね。 ・ルール看板があるね。 ・公園によって楽しめる工夫がたくさんあるね。</p> <p>○公園のことに詳しい公園博士に話を聞く。 ・大田区には、いろいろな公園があるんだね。 ・公園は、公園管理課の方が管理してくれているんだね。</p>	☆主-① (発言・振り返りカード) ☆知・技-② (観察カード) ◇(1)公園博士と連携し、話を聞いて理解が深まるようにする。 ◇(2)公園博士から話を聞き、公	①		

		<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんゴミが落ちていて困っているんだ。 ・ルールを守らない人がいるから、ルールがあるんだね。 ・遊具の安全点検など、毎日公園を点検してくれているんだね。 ・地域の人たちがボランティアで花を植えたり、掃除をしたりしてくれているんだね。 ・お年寄りが憩いの場としても使っているんだね。 <p>○図書資料やインターネットなどで公園について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイヤ公園というタイヤがたくさんある公園があるね。 ・公園によって特徴があっっておもしろいね。 ・「かまどベンチ」という災害時に使うベンチがあるんだね。 ・花がきれいな公園もあるね。 	<p>園課の人たちが困っていることから課題設定できるようにする。</p> <p>G 大田区地域基盤整備課</p> <p>公園について話してもらったり、質問に答えてもらう。</p> <p>☆思・判・表一② (ワークシート・振り返りカード)</p> <p>■国語科「もっと知りたい、友だちのこと」</p>			
【整理分析】	7～9	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">集めた情報を整理、分析しよう。</div> <p>○公園の良さについて調べた情報を整理し、必要な情報を選択する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴のある公園をみんなに伝えたいな。 ・公園は、みんなが気持ちよく使えるように工夫されているんだね。 ・安心して使ってもらえるように、管理課の人たちや地域の人たちが掃除などをして頑張っているんだね。 ・ゴミを落とさないで持って帰るように伝えたいな。 ・私たちも、何かボランティアをして、より良い公園にしていきたいな。 	<p>◇(3) 自分たちで得た情報の中から公園の良さや困り感についての情報を整理するために、思考ツール活用する。</p> <p>☆思・判・表一③ 主一① (ワークシート・振り返りカード)</p> <p>■国語科「班で意見をまとめよう」</p>	②		
【まとめ・表現】	10～18	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調べたことから公園のよさを伝えよう。</div> <p>○公園で花植えボランティアの手伝いをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花植えをしている人と一緒にお世話してみよう。 ・とても丁寧にお世話しているね。 ・これからも大切に使っていきたいな。 <p>○公園で掃除のボランティアをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意外とゴミって多いな。 ・公園がきれいになると気持ちがいいね。 ・他の公園もきれいになりたいな。 ・遊びに行った時に、ゴミが落ちていたら拾おう。 	<p>◇(1) 地域にポスターを貼らせてもらうことで、地域の一員としての自覚をもととすることができる。</p> <p>☆思・判・表一④ (ワークシート・振り返りカード・活動)</p>	③	① ②	

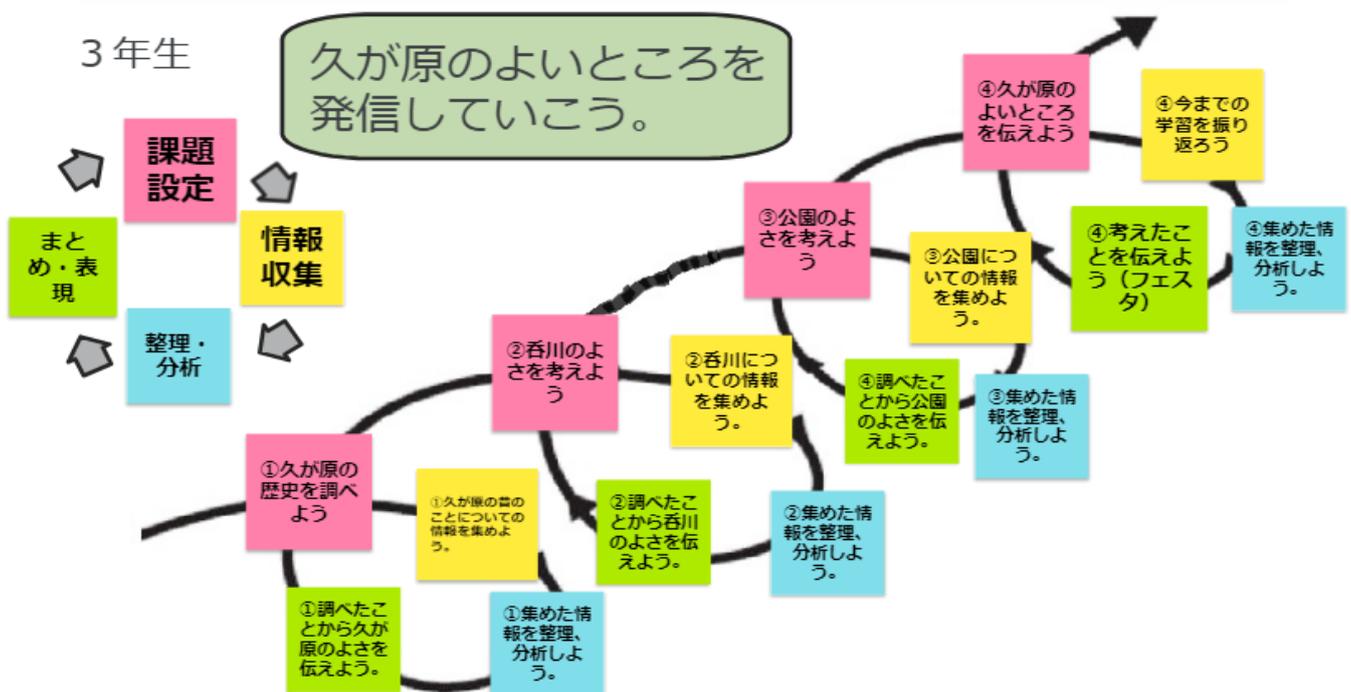
		<p>○公園のよさや願いを伝える方法を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミを捨てないでね。」というポスターを公園に貼ったらゴミが減るかな。 ・パンフレットを作ったら、いろいろな公園について知ってもらえそう。 ・公園のルールがあいまいなところがあるから、それをタブレットでまとめて全校に発表したいな。 <p>○調べたことから、自分たちが選んだ方法にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を使うと伝わりやすいね。 ・説明を簡単に書くとよさそうだね。 ・大田区全体に公園のよさや願いを伝えてみたい。 <p>○総合的な学習の時間を振り返り、自分がどのように変容したかを考える。(振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園について知って久が原がもっと好きになった。 ・久が原の町のよさをたくさん発見することができた。 	<p>◇(4)単元の振り返りをするこ とで、今後の生 活につなげてい くことができる ようにする。</p> <p>☆知・技-③ (発表・振り返り カード) ☆主-③ (振り返りカー ド・活動)</p>			
--	--	--	--	--	--	--

小単元④ 久が原のすてきを伝え合おう (全11時間)

小単元	時数	○主な児童の活動 ・予想される児童の姿	◇手だて ☆評価 □支援 ■教科横断的な学習	おおた未来づ くり科との関 連		
				知	思	学
久原 フェス タ	1	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;">久が原のすてきを伝えよう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分たちが できること・伝えられる ことを考えよう。</div> <p>○これまでの学習を振り返り、自分たちにできるこ と、伝えられることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呑川のよさをもっと知ってもらって、町の人たちに 大切に思ってもらいたいな。 ・呑川を知ってもらって、久が原には昔から人が住ん でいた歴史ある街だと知ってもらいたいな。 <p>○活動ごとにグループに分かれて、取組みを決める。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 久が原歴史探検隊 ② 呑川探検隊 ③ 公園探検隊 	<p>☆思・判・表-① (発言・振り返り カード) ☆主-① (発言・ 振り返りカー ド) ☆知・技-② (観察カード)</p>		①	
	2~	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分たちが考えたことを伝える準備をし</div> <p>○これまで取り組んできたことや調べてきたことにつ</p>			②	

【情報収集】	8	いて、伝える準備をする。 ・呑川に生息している生き物を写真を見せながら紹介しよう。 ・遺跡ができた当時の写真を見せてかなり昔から人が住んでいたことを伝えよう。 ・銭湯マップを見せながら魅力を語ろう。	☆思・判・表—② (ワークシート・振り返りカード) ☆思・判・表—③ 主—① (ワークシート・振り返りカード)	③	①
【整理分析】	9～11	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">自分たちが調べ、考えたことを伝えよう</div> ○自分たちがしてきたことや、今できること、それぞれの魅力など、全校児童や保護者、地域の人へ発信する。	☆思・判・表—④ (ワークシート・振り返りカード)	③	②
【まとめ・表現】	12～18	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">これからの久が原について考えよう。</div> ○これまでの学習を振り返り、自己の生き方について考える。	☆思・判・表—④ (ワークシート・振り返りカード) ☆知・技—③ (発表・振り返りカード) ☆主—③ (振り返りカード)		

11 学習のスパイラル



12 本時の指導（23/70）

（1）本時の目標

「久が原の昔を調べよう」の学習を振り返り、小単元のまとめをするとともに、次の学習につなげることができる新たな課題を考えることができる。

（2）本時の指導計画

時間	○学習内容 ・児童の反応等	◇指導上の留意点、配慮事項 ☆評価
導入	<p>○本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「久が原の昔を調べよう」の学習を振り返るとともに次の学習を考えていこう</p> </div>	
展開	<p>○「久が原の昔を調べよう。」の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナウマンゾウがいて、食料にもしていた。 ・その後の時代は、呑川の水を使って低い場所では米作り、高台では、野菜作りをしていた。 ・でも、呑川が度々氾濫してしまうため、米作りができず、荒地になっちゃったんだよね。 ・ため池がたくさんできて、ウナギや雷魚がいて、金魚屋さんもあったんだよね。 ・庚申塔や鬼子母神の話も面白かった。 ・今の久が原とは全然違う久が原だった。 <p>○学習方法を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に話を聞くことができ新しいことが分かった。 ・実際に見学に行って、古い建物や十五重にお塔を見ることができて嬉しかった。 ・資料で調べたことで、昔の子供たちのくらしが分かって良かった。 ・報告文を書いたことで、学習を整理することができた。 ・学び方が良かったから、「久が原の昔」をたくさん発見できた。「久が原のすてき」をたくさん発見できた。 <p>○どんな方法で多くの人に伝えていったらよいか話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのためには、「久が原フェスタで発表した方がいいよ。 ・家の人にも学校の人たちにも知らせることができるから。 ・お世話になった人たちにも聞いてほしい。教えてもらったことを正しく発表できたか聞いてほしい。 	<p>◇今までの学習の足跡を掲示し、学びを想起しやすいようにする。手だて4</p> <p>◇班で話し合うことにより、全員の考えを出しやすいようにする。手だて4</p> <p>◇全体で話し合い、学習を共有化する。手だて4</p> <p>◇小単元1での自分たちの学びを振り返ることで、小単元2につなげる。手だて4</p> <p>◇どんな方法で伝えたいかを話し合わせることで、フェスタにつなげていく。手だて4</p>

<p>まとめ</p>	<p>○「久が原のすてき」について、新たな課題を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学び方が良かったから、「久が原の昔」をたくさん発見できた。「久が原のすてき」をたくさん発見できた。 ・ 「小单元1での学びを生かして、小单元2「呑川の秘密」の学習をしていって、新しい発見をたくさんしていきたい。 <p>○次時の学習の確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「久が原の昔を調べよう」の学習を、久が原フェスタで多くの人に知らせる。 「久が原の昔を調べよう」の学習小单元1での学びを、小单元2へつないで行く。 <p>○まとめをする。</p>	<p>◇ 学びの良さを学びの良さを確認することで、小单元2へつないで行けるようにする。手だて4</p> <p>☆小单元1を振り返り、次の学習への見通しをもち、意欲を高めることができた。 (思・判・表) 【発言】</p>
------------	--	---

1 3 板書計画

9月11日(水)

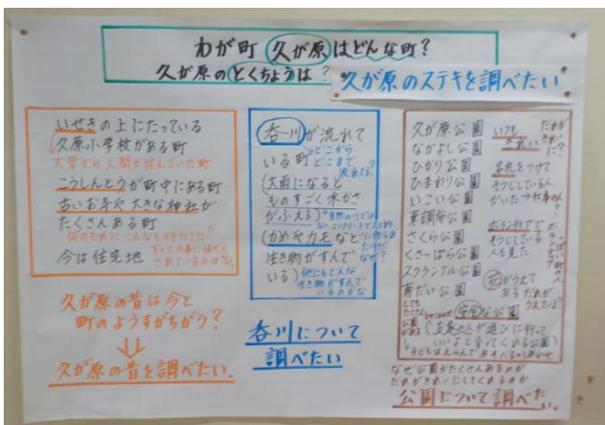
めあて 「久が原の昔」の学習を振り返るとともに、次の学習について考えよう。

<p>1. 新しく発見したこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて知った ・ 驚いた・吃驚した ・ 昔と今と違う ・ 原っぱから住宅地へ ・ 面白かった・楽しかった ・ 誇りに思った 	<p>2. 新しい発見があるための学び方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人から話を聞いたり見学したりした ・ 資料から ・ 話し合っって確かめた ・ メモ ・ 報告文を書いた 	<p>3. 学んだことをどうしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 久が原フェスタで伝えたい <p>4. 次の学習は</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 呑川調べ
--	---	---

まとめ

- ・ 学習をありがたいの気持ちで伝える。
- ・ 学び方を次の学習に生かしていく。

5. 呑川について調べたいこと



1 4 環境構成

- ・ 学習過程が振り返られる掲示物を作る。
- ・ 学年庫に130周年記念誌等の資料を置いておく。

15 成果と課題

(成果)

- ・国語の報告文を書く学習で学んだことを生かし、収集できた情報を各自が報告文に書き表すことで、児童の考えが整理しやすくなった。
- ・生活科で学習したことを生かし、地域の特色を話し合い、古い物がたくさん残っている町、呑川が流れている町、公園がたくさんある町という特色を発見し、地域探検や地域の方々と触れ合いながら学習を進めたことで、地域に対する愛着が深まった。

(課題)

- ・課題発見に際し、教師の支援が多かった。課題意識をもって児童が学習する態度を育てていきたい。
- ・思考ツールを目的に応じて使えるようにこれから指導していく。